



グリーンセンターだより



発行：日野市環境共生部グリーンセンター ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606

平成23年度
ごみ量速報

家庭ごみ→増加／事業系ごみ→減少 総量で1.6%の減量

平成23年度の市民1人1日あたりの総ごみ量（資源物や持込ごみ量を含む）は、681gとなりました。平成22年度と比較して16g減少になり、平成12年のごみ改革後最小のごみ量です。リサイクル率は36.9%になり、0.3ポイント増加しました。しかし、家庭からの収集ごみ量が昨年度と比較して246t(2.5%)増加しています。平成23年4月にグリーンセンターへの持込ごみ料金を1kg当たり25円から42円に改定したことにより持込ごみ（主に事業系ごみ）量が984t(15%)減ったのでトータルでは減量しました。ごみ減量施策にご協力いただきありがとうございます。

品目別の内訳	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	有害ごみ	資源物
平成23年度	 26,632t	 5,976t	 1,734t	 69t	 10,087t
22年度との比	 2%減	 1%増	 ±0	 8%減	 2%減



去る4月7日、グリーンセンター地元環境対策委員会が主催した根川桜まつりが開催されました。昨年度は大震災直後で中止されたので、2年ぶりの開催となりました。花冷えの陽気でしたが、施設見学会の後、お弁当や分別クイズなどをお楽しみいただきました。

また、会場内で震災義援金の募金をお願いしたところ、環境対策委員からの募金と合わせて総額10万円のご協力をいただき、被災地（宮城県女川町）へ送金されました。ありがとうございました。

東日本大震災で発生した災害廃棄物は、2千300万トンに上り、被災地復旧の妨げとなっています。できるだけ早く、災害廃棄物の処理を支援していく必要があります。そこで、宮城県女川町の災害廃棄物を当グリーンセンターを含む多摩地域の7清掃施設で焼却処理することになり、準備を進めています。これに伴って、去る3月18日に東部会館で新井・新石両自治会の地域の方を対象とした住民説明会を開催しました。内容は市のホームページに掲載されていますのでご覧ください。皆様の温かいご理解・ご協力をお願いします。

災害廃棄物の処理を支援します



▲女川町を視察される地元環境対策委員の方々

小金井市の 可燃ごみを処理支援

二枚橋衛生組合の解散により処理できない小金井市の可燃ごみを、多摩地域の自治体が結んでいる「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」に基づいて、平成23年度も処理を受け入れました。

これは平成19年度から継続しているもので、昨年度は12月から3月までに794tを受け入れました。多摩川衛生組合（稲城・狛江・府中・国立の4市）・国分寺市に次いで当市が受け入れ、続いて多摩ニュータウン環境組合（八王子・町田・多摩の3市）・昭島市・町田市・八王子市・三鷹市が受け入れました。

小金井市は、可燃ごみ処理問題を最重要課題と位置づけて、平成24年度中に実現可能な方針を示せるように取り組むと表明しています。



クリーンセンターから出る焼却灰の放射能濃度測定結果(直近2回分)

下表の結果については、国が定めた「福島県内の災害廃棄物の処理方針」において、作業員の安全を確保できるレベルとして8,000ベクレル/kgが示されていますので、健康に影響を与える数値ではないものと分析されています。

	採取日	放射性セシウム (ベクレル/kg)		
		Cs-134	Cs-137	セシウム合計
主灰 ※燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰。	3/7	23	29	52
	4/11	46	77	123
飛灰 ※ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）。	3/6	48	72	120
	4/10	57	89	146
排ガス	4/11	不検出	不検出	不検出

※不検出とは、分析の限界数値を下回っていることを指し、0ということではありません。

OK!



OK!

公害防止に関する測定結果(最新版)

当クリーンセンターの公害防止に関する最新の測定結果は下記のとおりです。各項目とも法規制値を下回っています。

排ガス測定	単位	測定値		法規制値
		1号炉 (H24/4/3)	2号炉 (H23/12/1)	
窒素酸化物(12%換算値)	ppm	82	100	250
硫黄酸化物	㎍N/h	0.33	0.18	32
ばいじん量(12%換算値)	g/㎍N	0.003	0.002	0.08
塩化水素(12%換算値)	ppm	65	49	430
ダイオキシン類	ng-TEQ/㎍N	0.031	0.095 (H23/11/2)	1

※ ppmとは、100万分の1を表す単位です。

※ ㎍N（ノルマル立法メートル）とは、標準状態（0℃、1気圧）における気体の体積を表す単位です。

※ TEQとは、ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンに毒性等価換算したものです。

※ 不検出とは、分析の限界数値を下回っていることを指し、0ということではありません。（今回は該当なし）